

「はちみつ採取」

下芳井はたるの会では、農地水環境保全向上事業の一環として、6月5日にはちみつ採取を行いました。菜の花やレンゲなどから集められたのはちみつは、ミツバチの巣箱から蜜棒を取り出し手動の遠心分離機を使って採取しました。実際に体験した佐藤ひなたさん（小川）は「すごく面白かった。またやってみたい」と目を輝かせていました。同会の福島泰夫会長は「5月に梅雨入りし、気温が低かったためミツバチが行動できなかったようだ。期待していたよりは集まらなかったが、このような気象条件の中で、今後どうやって対応したらいいのか、良い勉強になった」と話されました。



おはなしキャラバンがやってきた

6月5日、小川総合福祉センターにおはなしキャラバンがやってきました。このイベントは、講談社が幼児から小学生低学年を対象に行っている読み聞かせの全国キャラバンです。キャラバンカーには絵本や児童書約550冊が積載されており、キャラバンカーの扉が大きく開くと、当日集まった子どもたちは、見たこともないトラックとぴかぴかの本に興奮した様子で出たり入ったり。思い思いに本を選んでいきました。おはなし会も盛り上がり、お母さんやお父さんと一緒に楽しいひとときを過ごしたようです。



人権の花運動

「人権の花」の贈呈式が6月7日、馬頭西小学校・小川南小学校で行われました。子どもたちが協力して花を栽培することで、情操をより豊かにし、命あるもの大切さや思いやりの心を育むことを目的としています。人権擁護委員の高林和男さんと堀江喜代美さん、長山宣弘さんから渡された花の苗は、今後、6年生の児童の皆さんによって、丁寧に育てられます。



第1回庁舎建設等検討委員会を開催

東日本大震災により被災した役場庁舎の今後のありかたを検討する「那珂川町庁舎建設等検討委員会」の第1回の会合が6月3日、馬頭総合福祉センター研修室で開催されました。この委員会は、学識経験者、町議会議員、行政區長、各種団体長などのほか、公募委員3名を含む17名で構成されています。今回の会議では、委員長等の選任や庁舎整備に向けての検討体制・スケジュール等の説明などが行われました。今後は5回の会議を予定し、10月以降には新庁舎等建設基本・実施計画に関する提言を行う予定になっています。



いのしし料理講習会

馬頭温泉保護開発協会が主催するいのしし料理講習会が6月9日に行われ、町内の飲食店や温泉旅館の関係者などが参加しました。今回は、講師である老舗料理亭明治屋（宇都宮市）の稲葉敏明氏に当町の特産品である八溝ししまるを使った夏向けのメニューの考案をしていただきました。試食会では、猪肉自体の臭みも無く、しつとりと仕上がっている大変好評で、参加者からは「肉を軟らかく仕上げるコツは」、「どの部位を使うとよいか」など質問が相次ぎました。特産品の八溝ししまるが繊細な料理に変身し、新メニューとしてお目見えするのが楽しみです。



久那瀬農産物直売所 竣工式

6月11日、久那瀬農産物直売所の竣工式が行われました。町長、議長、農業団体関係者ら16名が招待され、関係者など約40人が出席し新築された直売所の完成を祝いました。式典で阿久津武之組合長は、「お客様第一の視点で創意工夫を実践し、明るく、楽しく、優しさに満ちた久那瀬地区の玄関口として多くのお客様の期待にこたえるためより一層努力していきたい」とあいさつしました。同直売所では新築を機に、農産物の他に肉や魚などの販売も始めました。皆さんも新しくなった久那瀬直売所に足を運んでみてはいかがでしょうか。



「子宮頸がん」は予防の時代です！

南那須医師会や那珂川町などの主催による「子宮頸がん予防講演会」が6月21日、すこやか共生館で行われました。この講演会は、自治医科大学の鈴木光明主任教授が講師をつとめ、子宮頸がんが発生する仕組み、ウイルスにより感染すること、予防が可能なのであることなどを話されました。「子宮頸がんは女性の命や子宮、すなわち子孫までも奪ってしまう病気です。ワクチン接種と検診により9割の人は助かるので、接種率や検診受診率を高めることが大切です。」などの話に、参加者は熱心に聞き入っていました。



笑劇場「ながかわれあい寄席」公開収録

6月19日、馬頭総合福祉センター集会室において、「ながかわれあい寄席」が開催され、合わせて町ケーブルテレビによる公開収録が行われました。出演は、落語家立川談志師匠の立川流真打談幸師匠と二ツ目談修氏。小気味良い出囃子とともに登場し、身近な話で観客を惹き込むと独特の江戸弁で古典落語の演目「酢豆腐」、上方では「ちりとてちん」を披露。会場が笑いの熱気に包まれました。「健康には笑が一番」とよく言われますが、皆さんも次の機会には是非出掛けて見てはいかがでしょうか。



東日本大震災被災地支援活動 子どもたちに笑いと元気を

笑いとスキンシップで子どもたちを元気にしたいというみなと座ちびっこわーるど主宰湊万里子さん（三輪）の呼びかけに、6月20日、岐阜県のNPO法人KENちゃんハウスによる「腹話術ライブとスキンシップたいむ」がわかあゆ保育園と子育て支援センターわかあゆでそれぞれ行われました。お子さんと参加した市川春子さん（小砂）は「とても分かりやすく、これから毎日の生活に取り入れたい」と笑顔で話されました。

